

マレーシアの職業訓練指導員 ポリテクセンター広島を見学！

平成25年1月23日（水）にJICA（独立行政法人国際協力機構）が主催する日本における職業訓練教育の仕組みについて学ぶことを目的とした「青年研修事業」に参加されたマレーシアの職業訓練指導員17名が、ポリテクセンター広島を訪問され、公共職業訓練の現場を見学されました。

訪問された皆さんは、当センターの離職者訓練、在職者訓練のコース内容などについて説明を受けた後、各実習場へ移動し、実習の実施状況、訓練機材そして実際に訓練で製作した作品などを熱心に見学されました。



訓練コースの説明



実習場（機械加工）での見学

訪問された皆さんは、実際に訓練現場で教えていることもあって、職業訓練の実施方法についても関心が高く、離職者訓練の「システム・ユニット訓練（*注1）」について熱心にメモをとられる姿が見られました。特に、6カ月という短い訓練期間の中で、訓練生が技能を身につけるにはどのような取り組みを行っているのかなど、活発な意見交換がなされました。



実習場（住宅リフォーム技術科）での見学



実習で建てた日本家屋

- ◎ 実習場の見学の中でも、実習で建てた日本家屋には、文化の違いから珍しさもあってか特に関心が高く、建築方法・部材、関連法規のことなど多くの質問をされていました。



訪問されたマレーシアの皆さん

*注1 「システム・ユニット訓練」とは・・・

訓練カリキュラムを3日間単位（ユニット）、1ヶ月単位（システム）、3ヶ月単位（仕上がり像）に分け、地域のニーズを踏まえて、それぞれに訓練到達目標を定めて、就職に結びつく訓練を行う方式です。この方式のメリットなど詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.jeed.or.jp/js/kyushoku/ability/index.html>